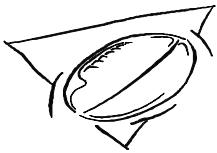


めざせ花園！



ALL FOR ONE ONE FOR ALL

みんなは、一人のために、一人は、みんなのために

大阪府立 八尾 高等学校

ラグビー部 No. 35

2007 (平成 19) 年 3 月 5 日

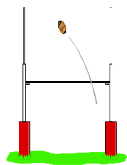
☆ 第62回大阪総合体育大会に向けて！ ☆

早ければ、あと1ヶ月で公式戦の大阪総体が始まる。【4月8日(日)からの予定】大阪総体では、リーグ戦(4チーム)で3試合以上戦わねばならない(シード戦含む)。それも、近畿大会大阪府予選で2回戦敗退チーム(16チーム)が4組に分かれる。→ カテゴリーIIリーグへ3戦全勝すれば、シード戦へ駒を進めることができ、シード戦で勝利すれば秋のシード権が獲得できる。八尾にとっては、真価の問われる大会になる。新1年生は、出場できない。いずれのチームも油断できないし、八尾と同様の事を考えているだろう！

全員でリーグ戦を戦わねばならない。リーグ戦終了まで、その事を頭に入れて練習しよう！

☆ 去年と同じ失敗をしないために！ ☆

去年は、大阪工大高・都島工業・上宮太子とのリーグ戦のはずが、3戦とも棄権せざるを得ない状況に追い込まれた。2年生は、忘れていないだろう！今春・卒業(59期生)がどんな思いで棄権したかももう一度考えて欲しい。去年のチーム状況は、毎日、誰か欠席してチームの核となる人物が大きな負傷で戦線離脱したことも響いた。練習も活気がなく、意欲に欠けていた。去年と同じ状況は絶対につくるな！また、去年と同じ失敗を繰り返さないチーム状態であって欲しいし、してはならない。リーグ戦を1戦1戦、勝ち進むためにも、各自がしっかりと体調管理をする習慣をこの時期に身につけよう！
練習の心構えを裏面に印刷してあるので熟読の上、しっかりと理解する事！



外気温が上がるにつれ、雨も多くなり、グラウンドでの練習もできない事が予想される

3月25日(日) 12:00 キックオフ (25分×2)

練習試合 四条畷高校+合同 (花園ラグビー場第 グラウンド)

【ラグビー場の芝生の上で思い切りのいいタックルを決めろ！】

今年から八尾高校 OB vs 四条畷高校 OB との交流戦があります。現役にもラグビー場で試合をさせてもらえることになりました。交流戦の前座試合になります。

送別試合 ・四条畷高校+合同戦に先立って**送別試合(59期生+若手OB)11:30キックオフ(25分×1)**を実施します。

恒例の送別試合(OB戦)ですが、3月18日(日)を予定していましたが、入試日程の関係で(登校禁止や校舎内立入禁止)のため、日程変更をして実施することになりました。

3年生を送り出す意味でも、手応えのあるゲームをしよう。技術的には、卒業したOBの方が上だと思うが、チームとして走り負けることなく、しっかりと踏み込んだタックルができれば勝算は十分ある。集散の早さと低いタックルでボールを動かし、接点で負けなければ……？ 攻め込まれても低いタックルでボールを奪い返し、みんなでボールをつなげ！【59期 卒業生は意気込んでいますよ！】

今後の日程

3月22日(木)大阪総体・抽選会(なみはやドーム 午後1時~)

3月27日(火)~29日(木) 春合宿

練習に対する心構え（姿勢）を振り返ってみよう！

- ① ラグビーは、チーム・プレーであるから、チームの練習には自分の時間を犠牲にしても必ず出る必要がある。練習時間は、仲間と苦しみ、楽しまなければならない。ここにチームの団結が生まれてくる。
 - ② 練習をやる時はすべてを忘れ、自分のすべてを打ち込んで熱中しなければならない。ここに精神の集中と統一、気分の転換の習性が養われる。
 - ③ 常に勝利の目標を忘れてはならない。敗北の涙を忘れてはならない。ここに激しい練習に打ち勝つ体力と、意志と、闘志と、自分自身に克（か）つ心が育てられる。
 - ④ 常に意識的でなくてはならない。本能的・動物的動きの連続であってはならない。疲労した時もハッキリした意識を持っていることは、変転きわまりのないゲーム中に、的確な判断を下すことができる習慣を与えてくれる。
 - ⑤ 練習時に一つ一つの技術は、その目的と合理性を十分認識していなければならない。そこに確固とした自信が育成され、正確な技術が進歩する。
 - ⑥ 常に研究的でなくてはならない。練習と研究は進歩の最も基礎となるところである。研究のないところに進歩はない。
 - ⑦ 常に身体のコディションに注意しなければならない。もし、グラウンドに出たならば仲間の練習を見学するぐらいの愛情が必要である。練習ができると決心してグラウンドに出た以上は、仲間に身体の異常を知らせてはならない。
 - ⑧ 自分の長所・短所を十分知らなければならない。まず、自分の長所を最も生かすプレーを習得し、それによって自分の強さと自信をつくり、次々とその範囲を広めて行くようにしていく。それでないと何でもやるが何もかも中途半端で、とりえのないプレーヤーになってしまうだろう。
 - ⑨ 一つのプレーを何回も反復練習し、いついかなる時でも相手の動きによって、反射的にプレーできるようにする。ここに練習の成果と思考の一致が養成される。
 - ⑩ キャプテン（リーダー）の指示はグラウンド内においては絶対である。もし、意見を異にしてもそれはグラウンド外で練習外に議論しなければならない。
- ①～⑩の事をもう一度、考えてみなさい。今からでも「やる気」さえあればできる。特に、①を實踐して欲しい。ラグビーのスキルアップの前に「心」を磨こう！

決して言い訳をする心を持つな！

一人一人が責任を持てば、強くなる。そうすれば、自信をもて強いチームに生まれ変わっていくはずだ！

とにかく多くの人数を集めよう！

「新入部員の確保」

来年度の事を考えると一人でも多く勧誘しないと15人制の部に出場できないことになってしまう。もし、新入部員が全く入らなかつたら、10人制しか出られない状況になってしまう。大阪で名門と言われた公立学校でも厳しい状況だ。四条畷高校もその一例だ！一度その状況になってしまうと部員集めは大変な苦勞を要する。中学校でのラグビー経験にこだわらず、一人一人が主人公の『魅力のあるチーム』を作りたい。多くの人数で、集めればたくさん集められる、何よりも君ら自身が充実感を得て練習に取り組む事ができる。また、ゲーム数が増やすことができる。お互いに競い合いをして強くなれる。